

独立行政法人都市再生機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、ESG 投融資の一環として、2020年9月に独立行政法人都市再生機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資を行いました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資する事業（ソーシャルプロジェクト）の資金を調達するために発行される債券のことです。

独立行政法人都市再生機構は、我が国が抱える、「人口減少、少子高齢化、東京一極集中という経済社会構造上の大きな課題」や、「巨大地震や気候変動に対応するための防災、減災、インフラの老朽化対策の必要性」という社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを基本姿勢としている独立行政法人であり、2020年8月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャル・ファイナンス・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による資金調達は、同機構が実施するソーシャルプロジェクトの財源として活用され、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。

当社は、中期経営計画「TRY NEXT ～成長を実現し、未来を創る～」において、CSR活動を通じ、国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献を図る等、社会貢献へ取り組むこととしております。

今後も引き続き、資産運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくため、ESG 投融資への取り組みを一層推進してまいります。

<本債券の概要>

債券名称：第166回都市再生債券（ソーシャルボンド）

発行総額：200億円

償還期間：40年

以上